

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成27年7月7日(火) 11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

発表事項

1. ネパール地震災害緊急報告会を開催します
2. ペルー共和国ナスカ市街地の近郊で新たな地上絵を発見しました
3. 世界初 雷が落ちても壊れない複合材料の電気が流れるプラスチック開発に成功
4. 地域で活躍する学生サークル紹介～ラジオサークルHBK～
5. 君の未来をつかみとれ！山形大学オープンキャンパス2015の開催
6. 第8回山形大学高校生朗読コンクール/群読劇の開催について
7. 公開講座「山形の魅力再発見パート13」を開催します

お知らせ

1. 附属博物館 リニューアル・オープン前のお蔵出し
2. 第30回山形紅花まつりを本学学生がサポートします
3. 地域教育文化学部「21世紀の教育の創造ーほめる・叱るに替わる教育と子育てー」を開催
4. 日本科学教育学会 第39回年会(山形大会)を開催します
5. ひらめき☆ときめきサイエンス「「有機EL」とはどんなものか、知っていますか？」(中学生対象)
6. ひらめき☆ときめきサイエンス「生物の多様性を考える」(高校生対象)
7. 山形大学農学部夏期セミナー2015
8. 「松尾雅彦氏講演会」開催案内
9. 夏休み 算数・数学教室開催案内

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成27年7月21日(火)11:00～11:30

場 所:事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

プレス発表資料

平成 27 年 6 月 30 日
山 形 大 学

学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」をスタートします

山形大学の使命「**地域創生**」「**次世代形成**」「**多文化共生**」を国内外に発信するために学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」をスタートします。

【開催主旨】

平成 28 年度からの第 3 期中期目標・中期計画期間を前に設定した山形大学の 3 つの使命「**地域創生**」「**次世代形成**」「**多文化共生**」を国内外に発信します。学内に対しては「山形から世界に通用する技術やプロダクト・学術研究をどんどん生み出そう。そして、山形を元気にして地域創生につなげよう」とのコンセプトを定着させるべく、公開の学長特別講演会を継続的に開催します。

【小山清人学長メッセージ】



山形大学では「**地域創生**」「**次世代形成**」「**多文化共生**」を使命としております。

私は、この 3 つの使命について国内外の様々な分野で活躍されている方と意見を交わすことによって、学内教職員はもとより、学生諸君や地域の皆さまと一緒に将来の山形大学の姿についての共通理解を深めたいと考えております。

皆さま、是非ご参加ください。

【モデレーター：土井正己特任教授】

元トヨタ自動車株式会社（グローバルコミュニケーション室長、広報部担当部長）

【方法】

国内外の著名な講師陣による小山学長主催の特別公開講演会を継続的に（2 か月に 1 回程度）学内で開催します。参加無料。

【対象】

学生、教職員、高校生、一般市民

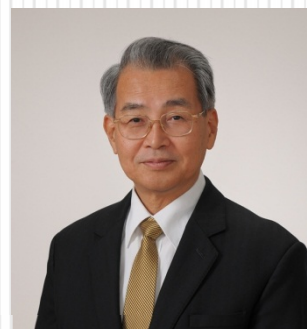
（お問い合わせ）

総務部総務課広報室 樋口

電話：023-628-4008

Mail：koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

学長特別講演会シリーズ 「山形から世界へ」



第1回

激変の時代 前進するか、沈むか?



平成27年 7月31日(金) 16:30~
18:00

会 場：山形大学 小白川キャンパス
人文学部 1号館 301 教室

＜プログラム＞ 司会：土井 正己 山形大学特任教授

16:30 開 会

16:40 開会の挨拶 山形大学長 小山 清人

16:50 講 演

講 師： ^{ほんじょう} 本 莊 ^{しゅうじ} 修 二 氏

(多摩大学大学院(MBA)客員教授・経営コンサルタント)

17:10 対 談 (本莊氏、小山学長)

18:00 閉 会

＜過去職歴＞

- ・ 500 Startups 等の起業家メンター
- ・ General Atlantic LLC 日本代表
- ・ CSK/セガグループ会長付
- ・ ボストン コンサルティング グループ他

■対 象：学生、高校生、一般（定員204名）※定員になり次第締切

■お申込み方法：

住所、氏名（ふりがな）、年齢（学生の場合は大学・学部・学科）、
電話番号、メールアドレスをご記入の上、e-mailでお申込み下さい。

送信先：koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

■締 切：平成27年7月17日（金）17:00



お問い合わせ先

山形大学総務部総務課広報室 〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
TEL: 023-628-4010 FAX: 023-628-4013 WEB: <http://www.yamagata-u.ac.jp>

会場へのアクセス・
お申込みメールアドレスは
こちらから

平成27年7月7日
山形大学

ネパール地震災害緊急報告会を開催します。

4月下旬にネパールで発生した大地震の現地調査を行うため、地域教育文化学部の八木浩司教授は5月29日から6月2日まで現地入りしました。今回の地震被害の様子や現地での状況について、調査団による「ネパール地震災害緊急報告会」を開催いたします。

ネパール地震災害緊急報告会 「ネパール地震災害調査報告－斜面災害を中心に－」

日時：7月13日（月）16：30～17：30

場所：山形大学地域教育文化学部1号館114教室
（山形市小白川町1-4-12）

参加費：無料（事前登録不要）

今回の報告会は、八木浩司教授・檜垣大助 弘前大学農学生命科学部教授・若井明彦 群馬大学工学部教授 連名での報告となります。

一般の方も是非ご参加ください。

（お問合せ先）
山形大学小白川キャンパス事務部
地域教育文化学部事務室
TEL 023-628-4305



ネパール地震災害緊急報告会

『ネパール地震災害調査報告－斜面災害を中心に－』

八木浩司 山形大学地域教育文化学部教授

檜垣大助 弘前大学農学生命科学部教授

若井明彦 群馬大学工学部教授

日時：2015年7月13日（月） 16:30～17:30

場所：山形大学地域教育文化学部（小白川キャンパス）114教室

八木浩司教授・檜垣大助弘前大教授・若井明彦群馬大教授連名の報告です

参加無料，事前登録不要，一般の方もご参加ください

2015年6月1日 八木浩司氏撮影 ランタン・ヒマラヤ

平成27年7月7日
山形大学

ペルー共和国ナスカ市街地の近郊で新たな地上絵を発見しました

新たに24頭の動物の地上絵をナスカ市街地の近郊で発見しました。これまで発見された地上絵を含めると、ナスカ近郊に41点もの動物の地上絵が分布していることが判明しました。これらの地上絵は、ナスカ市街地の拡大によって、破壊の危機に瀕しています。

【概要】

平成26年度の現地調査でナスカ市街地（ペルー共和国イカ県ナスカ市）の近郊において、24頭の動物の地上絵を新たに発見しました。その大部分はラクダ科動物のリヤマだと考えられます。

これらの地上絵は、平成25年度の現地調査で発見した17頭の動物の地上絵の近くに分布しています。そこで、合計41頭もの動物の地上絵がナスカ近郊に描かれていることとなります。これだけの数の地上絵が集中的に描かれている地区は他に例がありません。しかし、ナスカ市街地の拡大によって、これらの地上絵は破壊の危機に瀕しています。

今回の報告内容は、ペルー文化省の文化財担当者に現場で説明した上で、報告書を提出しています。詳細は別紙をご覧ください。

（お問合せ先）
学術研究院・教授
人文学部附属ナスカ研究所・副所長 坂井正人
電話：023-628-4785
Mail: sakai@human.kj.yamagata-u.ac.jp

ペルー共和国ナスカ市街地の近郊で新たな地上絵を発見しました。

(1) はじめに

平成 26 年度の現地調査でナスカ市街地（ペルー共和国イカ県ナスカ市）近郊において、24 頭の動物の地上絵を新たに発見しました。このうち 5 点は、平成 25 年度の調査で発見された動物の地上絵の付近から見つかりました。残りの 19 点は付近の山の斜面部に、5 つのグループに分かれて描かれています。その大部分はラクダ科動物のリヤマだと考えられます。

平成 25 年度の現地調査で発見した 17 頭の動物の地上絵と合計すると、41 点もの地上絵がナスカ市街地の近郊に集中的に描かれていることとなります。これだけの数の地上絵が集中的に描かれている地区は他に例がありません。

劣化しているため、全ての動物の地上絵の正確な形を判別することは困難です。そこで今回の発表では、3D スキャナーおよび写真を用いた分析にもとづいて作成した地上絵の図版を提示します。

今回の発表内容について、平成 26 年度中にペルー文化省の文化財担当官に対して現地説明を行い、報告書を提出しました。

(2) 5 つのグループの地上絵

第 1 グループには 7 点の動物の地上絵があります。最も大きい地上絵は全長約 10 メートルです。このグループの地上絵は、今回発見した地上絵の中で最も西側に分布します。

第 2 グループは、第 1 グループのすぐ北東に分布しています。全長 5～10 メートル程度の大きさの動物の地上絵が 2 点確認できました。

第 3 グループは、第 2 グループのすぐ南東に分布しています。このグループに含まれるのは、全長約 5 メートルの動物の地上絵 1 点のみです。

第 4 グループは、第 2 グループと第 3 グループの北東に分布しています。全長約 10 メートル以下の大きさの地上絵が山の斜面に 6 点描かれています。

第 5 グループは、第 4 グループの南東に分布し、今回発見した地上絵の中で最も東側に分布します。ここには 3 つの動物の地上絵があります。その中で最も大きい地上絵は全長約 20 メートルです。

(3) 制作時期

今回発見した地上絵は、パラカス後期（紀元前 400～紀元前 200 年頃）に制作されたと考えられます。平成 25 年度に発見した 17 頭の動物の地上絵も、同じ時期のもので、これらの地上絵は、有名なハチドリやサルの上絵以前に制作されました。

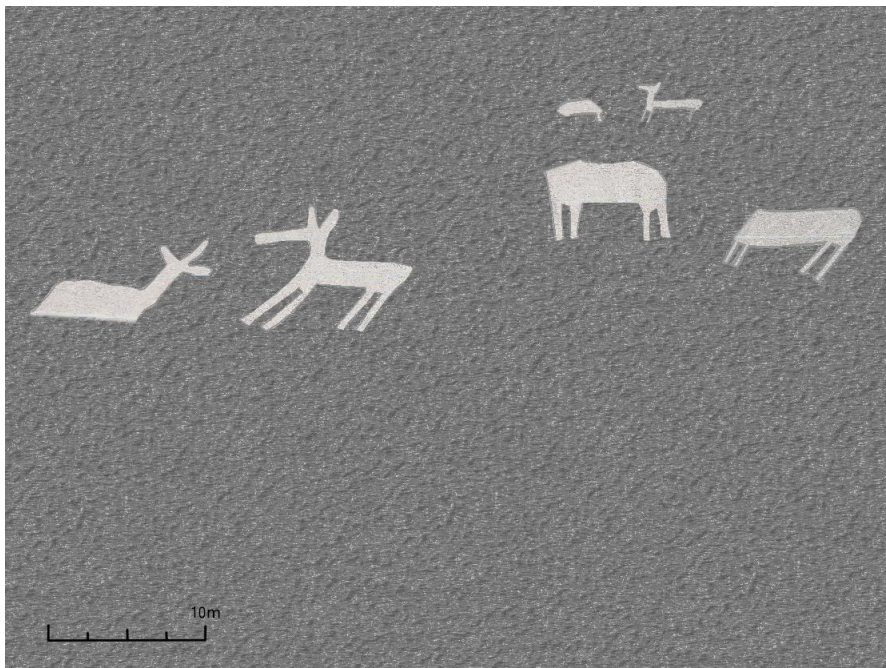
ハチドリの地上絵は、動物の外形に沿って小石を線状に除去して制作されているため、白い線で描いたように見えます。一方、今回の地上絵は、動物の外形とその内側の小石を、面状に除去して制作されています。これはパラカス後期の地上絵の特徴です。

今回の地上絵はすべて丘の斜面に描かれています。パラカス後期の地上絵は、丘の斜面に描かれることが多いので、この点からも今回の地上絵がパラカス後期のものだと考えられます。

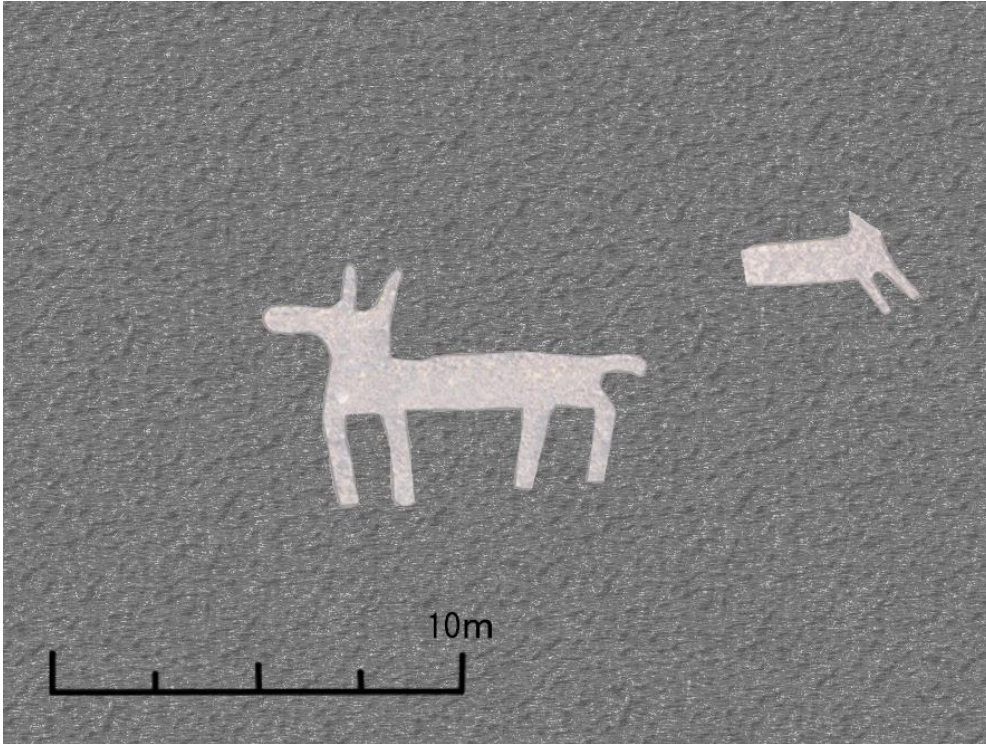
(4) 地上絵の保護

これらの地上絵の付近には、現在、鉱山関係の作業場があります。今後、ナスカ市街地が拡大するに伴い、地上絵が描かれた地区に、居住地や畑が広がる可能性があります。

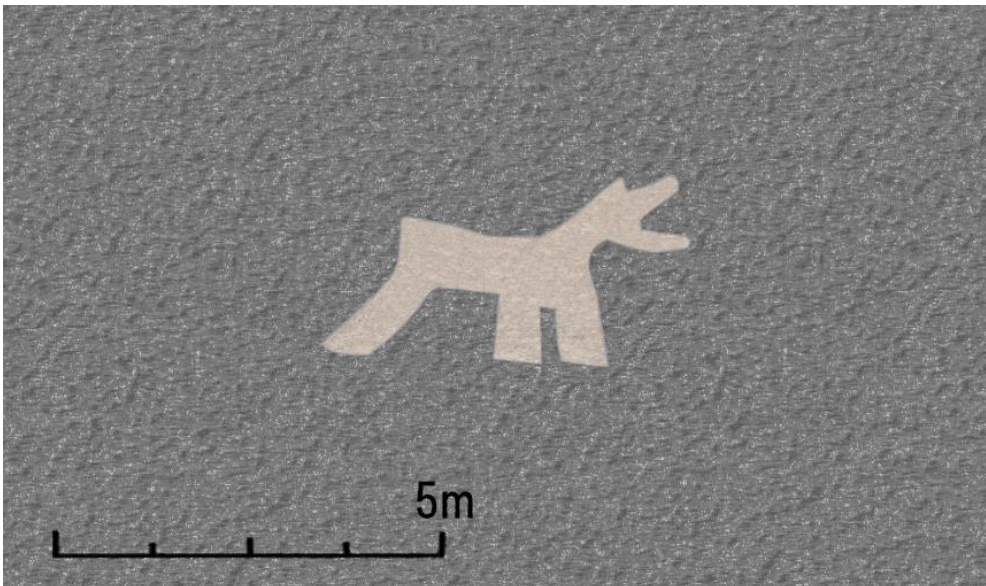
地上絵を保護するとともに、地上絵と共存するためには、地上絵の分布域を確定するとともに、その存在が広く認知される必要があります。今後、こうした活動をペルー文化省およびナスカ市当局と協力して実施する予定です。



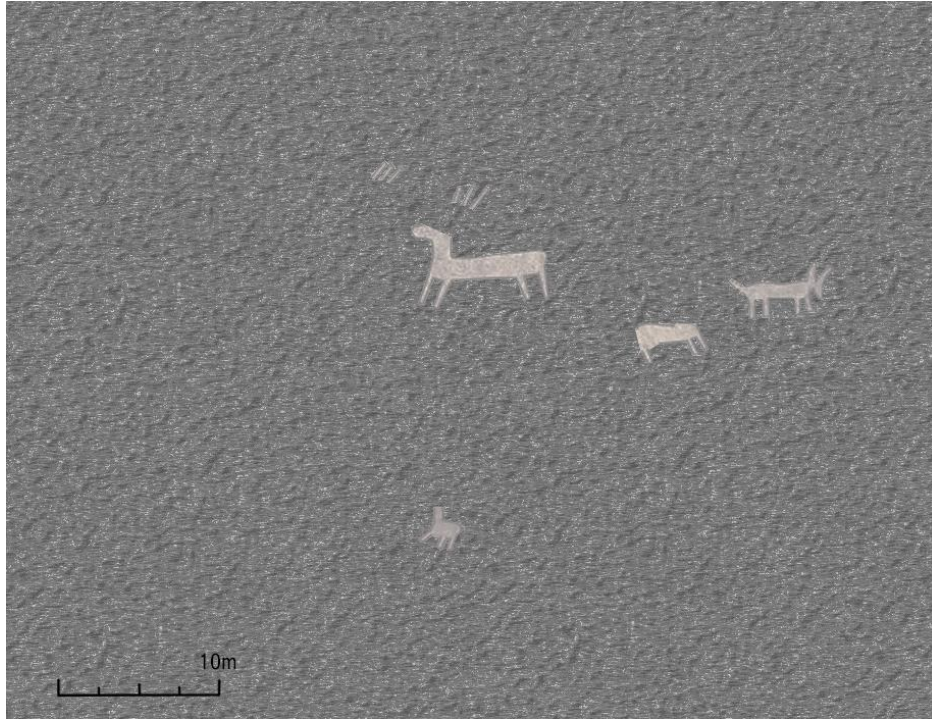
動物の地上絵（第1グループの一部）



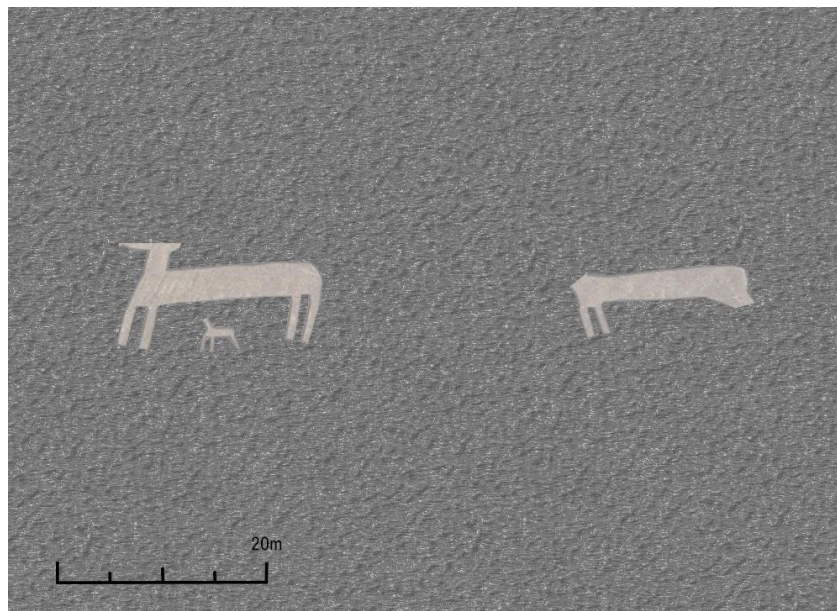
動物の地上絵（第2グループ）



動物の地上絵（第3グループ）



動物の地上絵（第4グループの一部）



動物の地上絵（第5グループ）

平成27年7月 7日

山形大学

世界初

雷が落ちても壊れない複合材料用の電気が流れるプラスチック開発に成功

山形大学が参加したJAXAオープンラボ公募制度における共同開発チーム(JAXA・東京大学・山形大学・三菱樹脂・GSIクレオス)は、耐雷撃性と軽量性を両立させた航空機材料を実現し得る新しい複合材料用高導電性樹脂の開発に世界で初めて成功した。山形大学 後藤晃哉博士・高橋辰宏教授らのグループが開発した導電性複合体をベースに共同開発チームで開発された複合材料用高導電性樹脂を適用した炭素繊維強化複合材料(CFRP)を製作し、模擬落雷試験を行った。その結果、汎用エポキシ樹脂からなる炭素繊維強化複合材料には大きな損傷が見られたが、新しい導電性複合体を用いた炭素繊維強化複合材料では損傷が大幅に低減できることが、世界で初めて実証された。

1. 経緯

近年、航空機にとって運行中の雷撃による損傷の影響は無視できないものとなりつつある。一般的な航空機の構造材料としては、アルミニウムを主原料とした材料(ジュラルミン)が用いられてきたが、軽量化のため、炭素繊維複合材料が幅広く用いられ始めてきている。従来の炭素繊維強化複合材料は電気をとおしにくいエポキシ樹脂などがベース材料として用いられているため、運行中の被雷時の損傷を受けることがある。航空機を運航中の被雷から防ぐために表面に金属製メッシュを適用するなどの適切な防御措置が実用化されているが、航空機開発・製造コストの増大や補修作業の煩雑さなどが問題となっている。JAXAオープンラボ公募制度における2011年から2014年の3年間の共同研究で、JAXA・東京大学・山形大学・三菱樹脂・GSIクレオスのチームは、落雷時の耐損傷性に優れた炭素繊維複合材料の開発に取り組んできた。

2. 概要

新しいベース材料として約 1 S/cm の導電特性を有する世界初の熱硬化性(熱をかけると固まる)導電性ポリアニリン複合体の開発に成功した。開発チームは、JAXA(樹脂評価、耐雷性評価)・東京大学(研究統括・複合体評価)・山形大学(ベース樹脂開発)・三菱樹脂(炭素繊維複合体作製)・GSIクレオス(用途開拓)で、それぞれ担当し進めてきた。複合材料への実用化にあたっては、製造性、力学特性、耐熱性などの課題は残るが、複合材料の落雷時の破損を大幅に抑制しうる新たな樹脂の開発に成功した。

山形大学は有機材料分野での世界的な研究拠点化を進めている。その有機エレクトロニクス関連材料の1つである導電性高分子を、輸送・エネルギーシステム(航空機、自動車、風車等)の構造材料向けへの研究開発の展開もしてきている。本発表はその成果の一環である。

お問い合わせ先

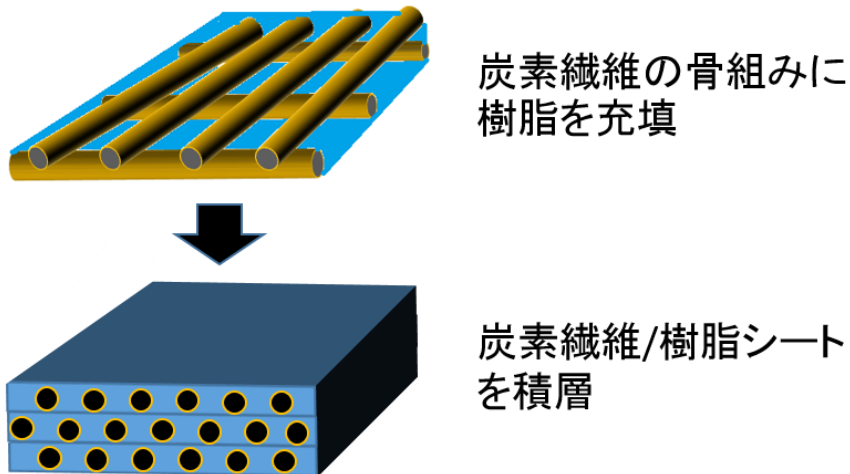
山形大学 有機材料システム研究推進本部

副本部長 特命補佐 高橋辰宏

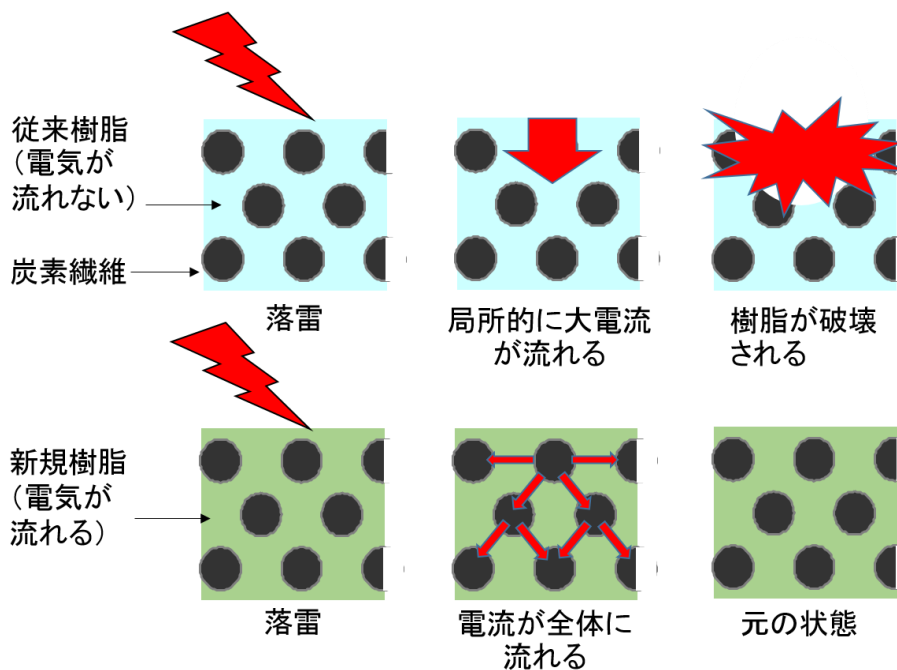
電話： 0238-26-3585 または 090 7339 4650

炭素繊維強化複合材料（CFRP）について

炭素繊維強化複合材料（CFRP）とは、炭素繊維と樹脂とを組み合わせた材料であり、鉄よりも軽く、高強度であることから様々な用途に使われはじめている。特に、飛行機や車などの材料を金属から炭素繊維強化複合材料に置き換えると、より軽くできることから、燃費の大幅な向上、環境への負担軽減といった効果が期待される。



炭素繊維強化複合材料の課題として、落雷による損傷がある。雷が落ちた場合、金属のように電気を流す材料であれば、雷電流がそのまま流れる。一方、電気を流しにくい炭素繊維強化複合材料の場合、適切な保護措置を取らないと、雷が落ちた部分を中心に大電流による発熱が発生し、材料に部分的な損傷が発生する。課題解決のために、樹脂を金属と同じような電気を流す性質のものに変えることが以前から提案されていた。しかし、炭素繊維強化複合材料とするための樹脂の取り扱いやすさと電気の流れやすさを両立することは困難であり、複合材料用の高導電性樹脂の実現が急務となっていた。



模擬雷撃試験条件

落雷を模擬したインパルス波形の大電流（瞬間的な大電流）を試験片に与えて、雷撃後の損傷挙動の比較を行った。インパルス電流の最大値は40kAであり、これは、日常に起こる**平均的な雷**（雷現象全体の50%程度）の強さである。

模擬雷撃試験結果

模擬雷撃試験では、従来型の炭素繊維／エポキシ樹脂複合材料（一般産業用）と新開発の炭素繊維強化複合材料では、明らかな違いが見られた。**電気を流さない、従来型の炭素繊維強化複合材料では、雷撃時に樹脂の分解、劣化に伴って炎があがり、材料の落雷点を中心に大きな損傷**が見られた。一方、**新開発の電気を流す樹脂を用いた炭素繊維強化複合材料では、雷撃時にも目立った変化はなく、雷撃後の材料の剥離損傷が大幅に低減**されていた。

なお、実際の航空機では落雷時の破損を防ぐために表面に金属製メッシュを適用するなどの適切な防御措置がされており、かつ航空機用の高耐熱エポキシ樹脂が使用されているため、雷撃損傷は大幅に低減されている。

雷撃前

雷撃時(左)と雷撃後の材料(右)

従来型
炭素繊維強化
複合材料
(一般産業用)



新規
炭素繊維強化
複合材料



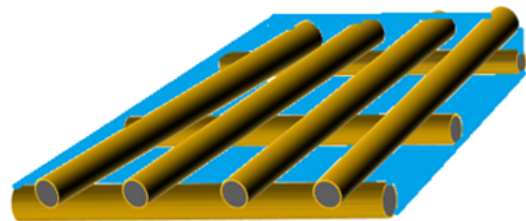
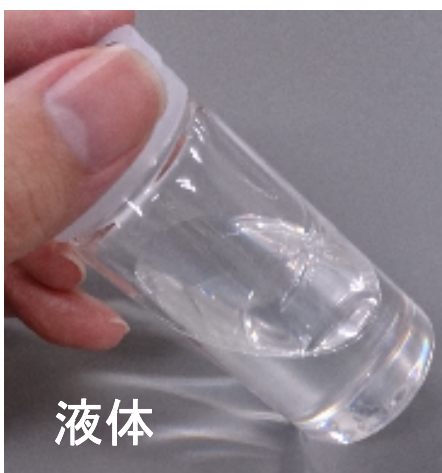
プレス発表資料(平成27年7月7日)

世界初

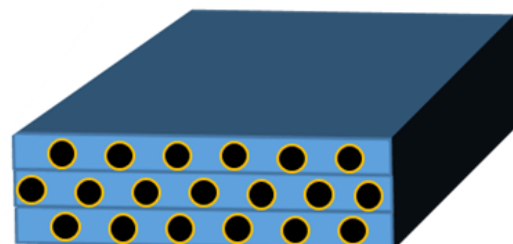
雷が落ちても壊れない複合材料用の
電気が流れるプラスチック開発に成功

山形大学
後藤晃哉 博士

従来の電気が流れないプラスチック

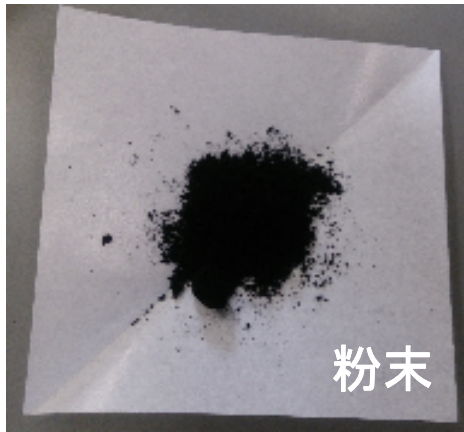


プラスチックを固める

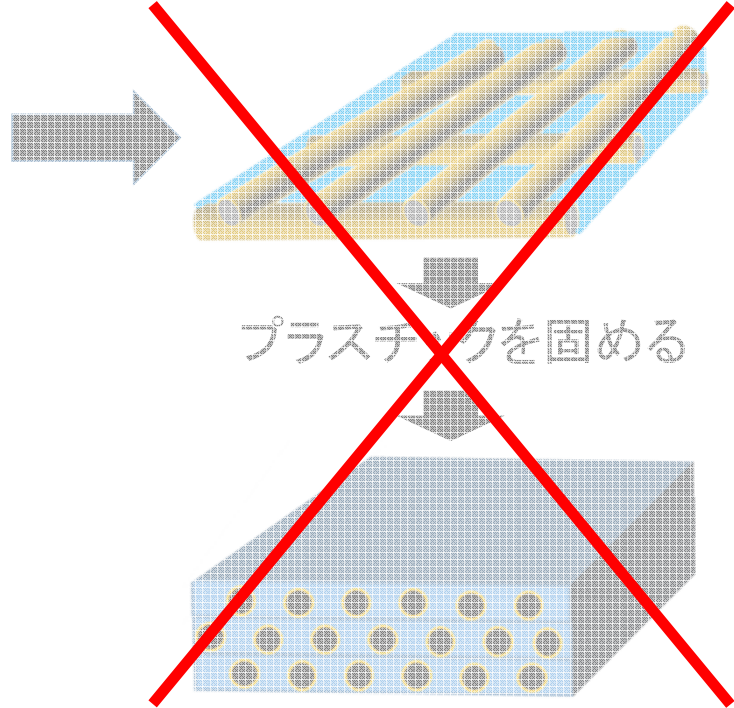


CFRP(電気が流れない)

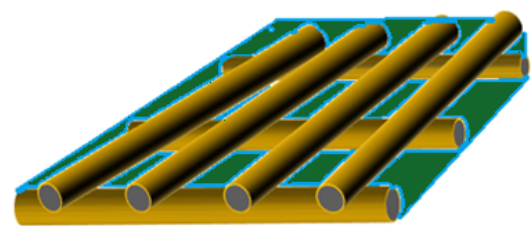
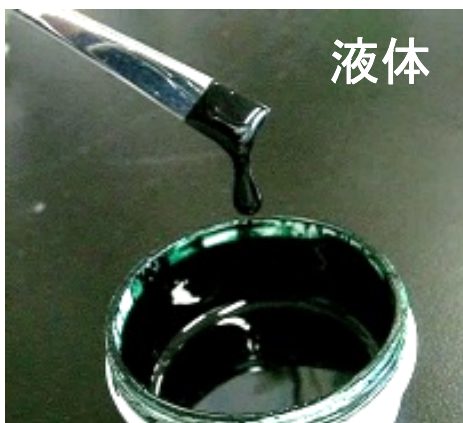
電気が流れるプラスチック



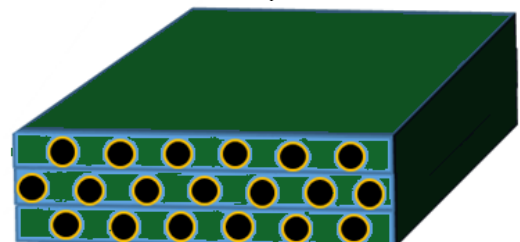
CFRPを作ることができない



世界初 新開発した電気が流れるプラスチック



プラスチックを固める



CFRP (電気が流れる)

分子レベルから設計した
「熱硬化型導電性ポリアニリン」

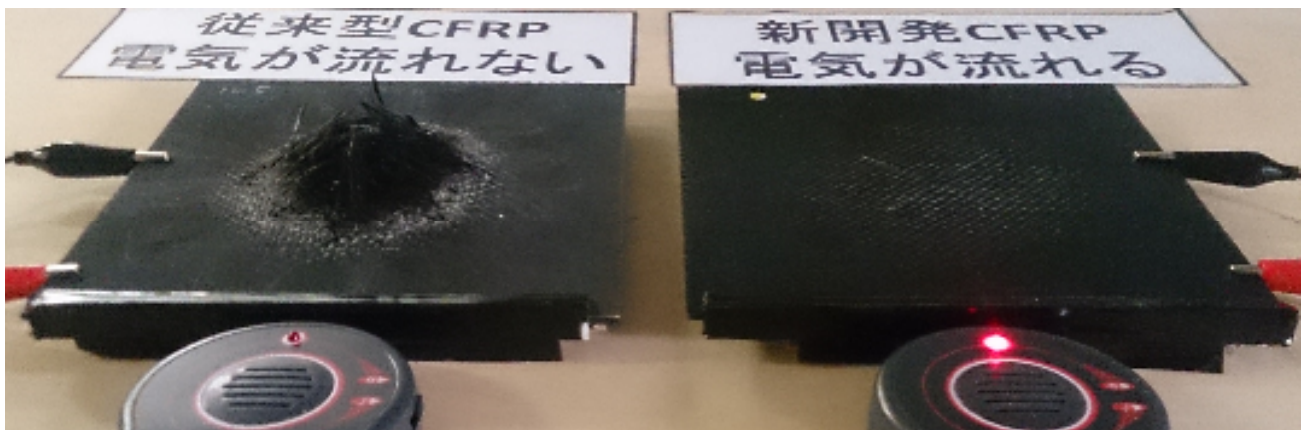
- ・粘度が低い液体 (液体化)
- ・熱で固められる (熱硬化)

新開発した電気が流れるプラスチックの特長

世界初 新開発した電気が流れるプラスチックの特長

	従来の 電気が流れない プラスチック	電気が流れるプラスチック	
		開発前	新開発品
電気が流れる	×	○	○ (1 S/cm)
液体化	○	×	○
熱による硬化	○	×	○

雷撃試験後のCFRPの外観と電氣的性質の比較



従来CFRP

- ・雷撃部分が大きく損傷
- ・電気が流れない
(LEDが光っていない)

新開発CFRP

- ・雷撃後も変化なし
- ・電気が流れる
(LEDが光っている)

参考、発表予定

JAXAオープンラボ【技術提案型】

「導電性樹脂を用いた複合材料の開発」(H23年～H27年)

http://aerospacebiz.jaxa.jp/jp/case/offer/cases/case_60.html

論文

Composites Science and Technology(掲載予定)

国際学会

20th International Conference on Composite Materials (ICCM20)

2015年7月19日～24日(発表予定)

特許

「熱硬化型導電性高分子組成物」

プレス発表概要

山形大学の後藤晃哉博士らは、JAXA、東京大学、山形大学、三菱樹脂、GSIクレオスとの共同開発で、従来固体粉末で加工ができない導電性高分子ポリアニリンを分子レベルから設計することで、「液体化」と「熱による硬化」ができ、「高い導電性(1S/cm)」を達成できる熱硬化型導電性ポリアニリンを世界で初めて開発することに成功した。

さらに、この熱硬化型導電性ポリアニリンを用いて作製したCFRPは、従来のCFRPに比べ大幅に落雷時の損傷が低減されることを世界で初めて実証した。

平成27年7月7日

山形大学

地域で活躍する学生サークル紹介 ～ラジオサークルHBK～

「地域創生」をビジョンの1つとする山形大学では、学生サークルが地域で様々な活躍をしています。今回は、「ラジオサークルHBK」をご紹介します。

【ラジオサークルHBKとは？】

山形大学ラジオサークルHBKは、FMラジオの生放送やインターネットラジオの配信、地域における各種イベントでの司会等で活躍しています。

設立：平成20年（旧放送文化研究会から改名）

部員数：34名（各学年10名程度）

新入生歓迎フェスティバル・八峰祭（文化祭）の際は、特設ブースを設置して会場内で放送を行っているほか、一部ステージのPAも担当しています。

最近では、6月20-21日開催の「日本一さくらんぼ祭り」で3名の学生が司会を担当しました。なお、卒業生では放送関係の企業で活躍している方もいます。

元代表の山口由理香さん（地域教育文化学部4年）は、「活動を通じて地域の方々と関わっていく中で学ばせていただいている」、「SNSの普及でメールの書き方を知らない者もいる。今後は後継者の育成が課題」と話しています。

地域のみならず、是非、「ラジオサークルHBK」に活躍の場をお与えください。



ミキサー指導



生放送トーク



機械女子！

（お問い合わせ先）

小白川キャンパス事務部学生課

電話：023-628-4121

平成27年 7月 7日
山形大学



君の未来をつかみとれ！

山形大学オープンキャンパス2015の開催

山形大学を志望している受験生や、高校1・2年生、高校教員、保護者等の皆様を対象に「山形大学オープンキャンパス2015」を開催します。

- 8月 1日(土) 飯田キャンパス (医学部)
- 8月 1日(土) 小白川キャンパス (人文学部、地域教育文化学部、理学部)
- 8月 2日(日) 鶴岡キャンパス (農学部)
- 8月 7日(金) 米沢キャンパス (工学部)

山形大学のことをより詳しく知っていただくため、各学部(学科)概要説明や、模擬講義、体験授業、相談コーナー等を行います。

来場者には、山形大学オリジナルグッズを差し上げます。

◆プログラム

- ・各学部(学科)概要説明
- ・施設、研究室見学
- ・模擬講義、体験授業
- ・なんでも相談コーナー
- ・在学生相談コーナー
- ・各種資料配付 等

◆シャトルバス

各キャンパス“最寄り駅”(山形駅、米沢駅、鶴岡駅)から無料シャトルバスを運行します。

◆参加申し込み

山形大学ホームページ及び携帯サイトにおいて、参加受付を開始しています。

原則として予約制ですが、当日の参加も大歓迎。詳しくは、ホームページをご覧ください。

(お問い合わせ)

エンロールメント・マネジメント部EM企画課

(TEL) 023-628-4062

YAMAGATA UNIV. OPEN CAMPUS'15

君の未来を
つかみとれ！



8月1日(土)

●飯田キャンパス(山形市内)

医学部

医学科 10:00~12:30(受付は9:30から)

医学科は体験授業も開催します。 13:30~15:30

看護学科 14:00~16:30(受付は13:00から)

※看護学科棟の施設見学・演習体験は13:00から参加可能です。

●小白川キャンパス(山形市内)

人文学部

9:30~16:00
(受付は8:30から)

地域教育文化学部 9:30~16:30
(受付は8:30から)

理学部 9:30~16:00
(受付は8:30から)

小白川キャンパスは8:30から総合受付を開始します。

工学部、農学部の相談ブースも設置します。 9:30~16:00

8月2日(日)

●鶴岡キャンパス(鶴岡市内)

農学部

9:30~15:00(受付は9:00から)

◎各キャンパス「最寄りの駅」から無料シャトルバスを運行いたしますのでご利用ください。

(小白川キャンパス-山形駅、飯田キャンパス-山形駅、米沢キャンパス-米沢駅、鶴岡キャンパス-鶴岡エスモール-鶴岡駅)

◎小白川キャンパス(8/1開催)に自家用車でこられる場合は、境内に駐車スペースがありませんので「山形県庁駐車場」をご利用ください。山形県庁から小白川キャンパスまでは無料シャトルバスを運行いたします。

8月7日(金)

●米沢キャンパス(米沢市内)

工学部

9:30~16:30(受付は9:00から)

詳しくは山形大学ホームページをご覧ください。 <http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

事前申込が必要です。山形大学ホームページが携帯サイトから申し込みください。

(原則として予約制ですが、当日の参加も歓迎します。)

◎携帯サイトからの
申込はコチラ →

山形大学 エンrollment・マネジメント部EM企画課 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 Tel.023-628-4063

リサイクル推進
CO2削減
YAMAGATA UNIV.



平成27年7月7日
山形大学

第8回山形大学高校生朗読コンクール/群読劇の開催について

山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」の事業として、9月13日（日）に、第8回山形大学高校生朗読コンクールと群読劇「ビルマの豎琴」を開催します。

◆概要

このプロジェクトは、平成20年度に始めた「山形大学高校生朗読コンクール」と同時に、群読劇を上演するという内容で、平成24年度から開催しています。東北の未来を考えるために、東北の人びとが中心となって東北の地で表現するという催しです。

日時：9月13日（日） 13時～17時

第一部：山形大学高校生朗読コンクール

第二部：群読劇「ビルマの豎琴」

場所：山形市中央公民館多目的ホール（山形市七日町一丁目2番39号 アズ七日町6階）

◆朗読コンクール

- ・東北6県の高校生を対象として6月30日まで出場者を募集し、山形大学教員からなる予選審査委員会が録音データを審査します。
- ・予選を通過した10名前後が、詩人で彫刻家であった高村光太郎の作品から、それぞれ異なる部分を朗読します。
- ・本選では、上位3名を山形大学学長賞として表彰します。

◆群読劇

- ・今年度は、戦後70年にちなみ、竹山道雄の名作「ビルマの豎琴」に基づいた群読劇（集団での朗読を主体とした劇形式）を上演します。
- ・群読劇「ビルマの豎琴」は、酒田市出身の演出家 佐藤正文氏が演出を担当、俳優の磯部勉さん、女優の大西多摩恵さんの2名をお招きし、山形の一般市民と子どもたち、山形大学の学生およそ40名が一体となって舞台をつくります。

（お問合せ先）

エンロールメント・マネジメント部社会連携課
電話：023-628-4016

第8回山形大学

高校生朗読コンクール

高村光太郎 作品より

群読劇

ビルマの豎琴

原作 竹山道雄

日時

平成27年9月13日(日)

開場13:00 開演13:30

(終演予定17:00)

第一部 高校生朗読コンクール

第二部 群読劇 ビルマの豎琴

第三部 表彰式

会場

山形市中央公民館多目的ホール

(山形市七日町一丁目2-39アズ七日町6階)

入場料 無料(全席自由)

入場・応募方法

入場には事前のお申し込みが必要です。

詳細については裏面をご覧ください。

申込締切 平成27年9月9日(水)

お問い合わせ先

国立大学法人 山形大学

エンrollment・マネジメント部社会連携課

〒990-8560

山形市小白川町1-4-12

Tel 023-628-4016

Fax 023-628-4491

E-Mail embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※電話によるお申し込み・お問い合わせは、
平日9:00~17:00にお願いいたします。

山形大学特別プロジェクト
いま、言葉を東北の灯に

主催 国立大学法人 山形大学

第8回山形大学高校生朗読コンクール～高村光太郎作品より～ 群読劇「ビルマの豎琴」

【朗読コンクール・群読劇について】

山形大学高校生朗読コンクールは東北出身の作家の文章・東北を描いた作品を課題として取り上げ、将来の東北を担う若い才能を発掘します。東北6県から応募して予選を突破した高校生たちが、福島県にゆかりのある詩人で彫刻家でもある高村光太郎の作品を朗読します。また、群読劇「ビルマの豎琴」(原作:竹山道雄)では演出は酒田市出身の佐藤正文さん、出演者として磯部勉さん、大西多摩恵さんを招き、山形の子どもたち、一般市民の皆さん、山形大学学生とともに舞台を作り上げます。

【出演者プロフィール】



磯部 勉 (いそべ・つとむ)

桐朋学園大学短期大学部を卒業後、劇団俳優座に入団。シェイクスピア作品を中心に多くの舞台に出演。俳優座以外にも清水邦夫氏の木冬社や蜷川幸雄氏などの作品に参加。中島貞夫監督の映画『さらば、わが友 実録大物死刑囚たち』(1980年公開)で主人公の死刑囚役を演じる。また昨年の『軍師官兵衛』をはじめNHK大河ドラマに多数出演。外国映画の吹替ではハリソン・フォードやメル・ギブソン、ジョージ・クルーニーなどを担当する他、アニメの吹替え、ナレーションなども多数。



大西 多摩恵 (おおにし・たまえ)

仲代達矢氏の主宰する無名塾に1期生として入塾。『肝っ玉おっ母と子供たち』『リチャード三世』などに出演。2000年の退団まで23年間在籍する。永井愛主宰の二兎社で『時の物置』『兄帰る』や、こまつ座『頭痛肩こり樋口一葉』、劇団東京ヴォードヴィルショー『無頼の女房』、宮本亜門演出『金閣寺』など多くの作品に出演。『龍馬伝』(NHK)『相棒10』(EX系)などテレビドラマでも活躍。NHKの海外ドラマシリーズ『ダメージ』では主演のグレン・クロウズの声を担当。

【演出・出演】



佐藤 正文 (さとう・まさふみ)

演技トレーナー、演出家、俳優。尚美学園大学芸術情報学部客員教授、日本大学芸術学部非常勤講師。桐朋学園大学演劇専攻科卒業。劇団俳優座、安部公房スタジオを経てフリー。俳優座劇場プロデューサー、無名塾、地人会などの公演に多数出演。1996年米国コロンビア大学の安部公房シンポジウムで演技術・安部公房システムを紹介。平成26年度山形市舞台芸術セミナー「朗読講座」の講師を務める。大手芸能プロダクションで演技レッスンを担当、多数の俳優を育成する。

【入場・応募方法】 入場には事前申込みが必要です(当日も入場を受けけます)

○応募方法

入場申込書に、代表者氏名、代表者住所、電話番号、同行者氏名、合計人数(5名まで)をご記入の上、郵送・電話・FAX(EM部社会連携課宛)・メールのいずれかからお申込みください。 **申込み締切:平成27年9月9日(水)**

※電話によるお申込み・お問い合わせは、平日9時～17時にお願いたします。

〈お申込み先〉

山形大学エンrollment・マネジメント部社会連携課 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

Tel: 023-628-4016 Fax: 023-628-4491 E-mail: embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

○当日の受付方法

事前にお申込みの方はお名前を確認させていただきます。お申込みでない方は受付簿にご記名ください。

平成27年度 第8回山形大学高校生朗読コンクール/群読劇「ビルマの豎琴」

入場申込書

ふりがな 代表者氏名			
代表者住所	〒	—	
電話番号	—	—	FAX — —
複数人での申込みの場合は、観覧希望者全員のお名前(ふりがな)を下記にご記入ください。			
申込み人数	同行者氏名(ふりがな)		
人			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

平成27年7月7日
山形大学

「山形の魅力再発見パート13」を開催します

山形大学都市・地域学研究所、NPO法人「山形の魅力再発見プロジェクト」共催で、公開講座「山形の魅力再発見パート13」を全3日5講座開催いたします。

- 2015年9月5日（土）小白川キャンパス 人文学部1号館
講座1 「航空機産業の成長と地域における産業集積形成」
山形大学都市・地域学研究所所員 准教授 山本 匡毅
講座2 「香道の魅力を語る」香道大枝流主宰 三品 隆昭
- 2015年9月19日（土）小白川キャンパス正門集合
講座3 社寺巡礼 山形市光明寺、山辺町安国寺
山形大学都市・地域学研究所 所長 教授 松尾 剛次
～安国寺でのお茶の振る舞い～ 裏千家 田中淑子先生
- 2015年10月3日（土）小白川キャンパス 理学部1号館
講座4 「山形方言の中の世界標準」 准教授 池田 光則
講座5 「井上ひさし『吉里吉里人』と方言意識」
山形大学都市・地域学研究所 事務局長 准教授 中澤 信幸

• 定員30名 料金6,000円

（お問合せ先）
山形大学都市・地域学研究所 太田
電話 023-628-4871
人文学部松尾研究室
電話 023-628-4917

2015年度 山形大学都市・地域学研究所

非営利活動法人山形の魅力再発見プロジェクト 共催 公開講座

山形の魅力再発見パート73



9月5日(土)

13:00~16:10

山形大学人文学部1号館26演習室

「航空機産業の成長と地域における産業集積形成」

都市・地域学研究所所員 人文学部准教授 山本 匡毅

「香道の魅力を語る」

香道大枝流主宰 三品 隆昭

9月19日(土)

13:00~17:00

集合場所：山形大学小白川キャンパス

社寺巡礼 山形市光明寺、山辺町安国寺

都市・地域学研究所 所長 人文学部教授 松尾 剛次
～安国寺でのお茶の振る舞い～ 裏千家 田中淑子先生

10月3日(土)

13:00~16:10

山形大学理学部1号館11番講義室

「山形方言の中の世界標準」

人文学部准教授 池田 光則

「井上ひさし『吉里吉里人』と方言意識」

都市・地域学研究所 事務局長 人文学部准教授 中澤 信幸

全3日 5講座

<申込締切>

8月28日(金)

<受講料>

6,000円(バス代含)

<募集人員>

30名

<申込方法>

TEL・FAX・E-mailのいずれかでお申し込みください。

<山形大学都市・地域学研究所>

〒990-8560

山形市小白川町1-4-12

TEL/FAX 023-628-4871(午前中)

TEL/FAX 023-628-4917(松尾研究室)

E-mail

kmatuo@human.yamagata-u.ac.jp

【賛助会員】 (株)シェルター、宗輝子、山形建設(株)、宝光院、(株)山形銀行、山形パナソニック(株)

トヨタカローラ山形(株)、東北電化工業(株)、弘栄設備工業(株)、安国寺、(株)三陽製作所、坂部印刷(株)

宮城興業(株)、(株)荘内銀行、(株)シベール、(株)カキザキ 山形国際ホテル

山形の魅力再発見パート73



航空機産業の成長と地域における産業集積形成

都市・地域学研究所所員 人文学部准教授 山本 匡毅

今年、国産旅客機としては50年ぶりのMRJ（三菱リージョナルジェット）が初飛行するように、世界的な航空需要の拡大に伴い、航空機産業が成長しています。日本では航空機の生産が進み、地方圏でも航空機産業の裾野が拡大しつつあります。講演では、世界の航空機産業の発展を俯瞰しつつ、国内の地域レベルでの航空機産業集積の形成を明らかにします。



香道の魅力を語る 香道大枝流主宰 三品 隆昭

公開講座では実際に香道を体験して頂きます。



山形社寺巡礼パート1

都市・地域学研究所 所長 人文学部教授 松尾 剛次

最上義光ゆかりの山形市の光明寺や山辺町の安国寺で歴史の話をします。安国寺では裏千家の田中淑子先生によるお茶の振る舞いも御用意しております。



山形方言の中の世界標準 人文学部准教授 池田 光則

山形方言には、使っている人も方言とは気づかない言葉もあれば、TVにも取り上げられる特徴的な言葉もあります。私たちは共通語と異なる山形方言の「珍しさ」にばかり目を向けがちです。しかし、共通語よりも山形方言の方に、世界の言語ではむしろ一般的な特徴や言語現象が見られることがあります。この講座では、そのような山形方言の側面を紹介し、方言と共通語の関係を捉える新たな視点を考えたいと思います。



井上ひさし『吉里吉里人』と方言意識

都市・地域学研究所 事務局長 人文学部准教授 中澤 信幸

山形県出身の作家・井上ひさしの小説『吉里吉里人』には、「吉里吉里語四時間」というものが出てきます。これは独立した「吉里吉里国」の言語について解説したのですが、その内容は東北方言の恰好の教科書となっています。この講座では「吉里吉里語四時間」の内容を紹介しながら、東北方言（吉里吉里語）と日本語の歴史との関係、また『吉里吉里人』に見られる方言意識について解説していきます。

〈 問合せ・申込先 〉 山形大学都市・地域学研究所

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL/FAX 023-628-4871（午前中）

TEL/FAX 023-628-4917（松尾研究室） E-mail kmatuo@human.yamagata-u.ac.jp

平成27年7月7日
山形大学

1. 附属博物館 リニューアル・オープン前のお蔵出し

山形大学附属博物館が所蔵する掛軸を学生目線の斬新な切り口で紹介します。

会期：平成27年7月11日（土）～9月13日（日）

会場：最上義光歴史館 開館時間9:00-17:00

詳細は別紙「通知資料」をご覧ください。

2. 第30回山形紅花まつりを本学学生がサポートします

来る7月11日（土）～7月12日（日）に山形市高瀬地区で開催される「第30回山形紅花まつり」に、人文学部山田浩久研究室、下平裕之研究室、山本匡毅研究室の学生およそ15名が山形県村山総合支庁による地域課題実践活動モデル事業を契機とした学生活動の一環として参加し、活動のお手伝いを致します。

詳細は別紙「通知資料」をご覧ください。

3. 地域教育文化学部「21世紀の教育の創造—ほめる・叱るに替わる教育と子育て—」を開催

◆日時：8月24日（月）

9月 3日（木）・10日（木）・17日（木）・24日（木）

18:00～20:00

◆場所：地域教育文化学部1号館114講義室

◆対象：一般市民（定員40名）

詳細は別紙「チラシ」をご覧ください。

4. 日本科学教育学会 第39回年会（山形大会）を開催します

1. テーマ：学びの原点への回帰 —新時代に対応した科学教育研究—

2. 日程：2015年8月21日（金）～23日（日）（3日間）

3. 会場：山形大学（小白川キャンパス） 基盤教育1号館

4. 主催：一般社団法人日本科学教育学会

後援：山形大学、山形大学地域教育文化学部、山形県教育委員会、山形市教育委員会

詳細は別紙「通知資料」をご覧ください。

5. ひらめき☆ときめきサイエンス「「有機EL」とはどんなものか、知っていますか？」

開催日：2015年8月6日（木）

対象：中学生（18名）⇒定員まであとわずか

申込締切：2015年7月17日（金）

詳細は別紙「チラシ」をご覧ください。

6. ひらめき☆ときめきサイエンス「生物の多様性を考える」

開催日：2015年9月15日（土）

対象：高校生（20名）

申込締切：2015年8月28日（金）

詳細は別紙「チラシ」をご覧ください。

7. 山形大学農学部夏期セミナー2015

夏期セミナーとは？

「食料系コース」・「生命系コース」・「環境系コース」に分かれ、実験やフィールドワークを通して、各分野に関する先端の研究を直接体験できる、高校生対象のセミナー（各コース定員10名）

開催日：2015年8月3日（月）9:00-12:30

申込締切：2015年7月21日（火）

詳細は別紙「チラシ」をご覧ください。

8. 「松尾雅彦氏講演会」開催案内

開催日：2015年7月17日（金）16:20-17:30

会 場：山形大学農学部3号館301講義室

申込締切：2015年7月13日（月）

詳細は別紙「チラシ」をご覧ください。

9. 夏休み 算数・数学教室開催案内

自由研究を算数・数学でやってみませんか？

日時：2015年7月24日10時から14時

場所：悠創の丘（悠創館 山形市上桜田366番地）

対象：小学校3学年以上の小・中学校のお子さんとその保護者

主催：山形大学 数学教育研究センター（MERC）

申込方法その他の詳細は別紙「チラシ」をご覧ください。

以上

平成27年7月7日
山形大学

リニューアル・オープン前のお蔵出し

山形大学附属博物館が所蔵する掛軸を学生目線の斬新な切り口で紹介します

1. 主催 山形大学附属博物館
公益財団法人山形市文化振興事業団（最上義光歴史館）
2. 会期 平成27年7月11日(土)～平成27年9月13日(日)
休館日 毎週月曜日(国民の祝日と重なる場合はその翌日)
3. 会場 最上義光歴史館
〒990-0046山形市大手町1-53
TEL 023-625-7101 <http://mogamiyoshiaki.jp/>
開館時間 9時～17時(※入館受付は16時30分)
入館料 無料
4. 趣旨 平成26年度にご好評をいただいた共同特別展の第二弾です。
博物館実習を履修する学生がこれまで学んできたことをもとにして、附属博物館が長年収集し保管してきた貴重な資料の新たな魅力を引き出す展示を試みます。
5. その他 山形大学附属博物館は
11月27日(金)にリニューアル・オープンします

(お問合せ先)
山形大学附属博物館
佐藤
電話 628-4930

平成27年7月7日
山形大学

第30回山形紅花まつりを本学学生がサポートします

来る7月11日（土）～7月12日（日）に山形市高瀬地区で開催される「第30回山形紅花まつり」に、人文学部山田浩久研究室、下平裕之研究室、山本匡毅研究室の学生およそ15名が山形県村山総合支庁による地域課題実践活動モデル事業を契機とした学生活動の一環として参加し、活動のお手伝いを致します。

【第30回山形紅花まつりの概要】

- 日時：平成27年7月11日（日）～7月12日（日）10:00～
- 会場：高瀬紅花ふれあいセンター（山形市高瀬コミュニティセンター）
山形市大字下東山1360
- 主催：山形紅花まつり実行委員会
- 主な行事：
紅花プレゼント（先着300人）、高瀬紅花音頭・研究発表、紅花染め体験等
- 本学学生の活動
紅花まつり実行委員会への参加（4名）
アナウンス，屋台販売，イベント（紅花摘み体験，乗馬体験等）の補助（約15名）



※詳細は山形紅花まつりのweb（<http://www.yamagata-community.jp/~takase/maturi.html>）をご覧ください。

（お問合せ先）
学術研究院・教授 山田浩久
電話：023-628-4246
Mail: hyamada@human.kj.yamagata-u.ac.jp

第30回
山形

紅花まつり

紅花の里 高瀬

平成27年 7/11(土) 午前10:00~午後5:00
7/12(日) 午前10:00~午後4:00
雨天決行
本会場：高瀬紅花ふれあいセンター

● 第30回 山形紅花まつり行事日程

期 日	場 所	時 間	行 事
11日 土	本会場	午前10時～ 午前10時30分～ 午前10時30分～正午 午前11時～ 午前10時30分～午後5時 午後2時～	開会式 紅花プレゼント(先着300人) 整理券配布午前9時30分より 高瀬紅花音頭・研究発表(高瀬小)、老酒盛、花笠踊 紅花染体験 先着15人(1,080円) 紅花販売、紅花摘み体験(500円) 紅花染体験 先着15人(1,080円)
	高沢会場	午前10時～午後5時	紅花観賞のみ
12日 日	本会場	午前10時～ 午前10時15分～正午 午前10時30分～ 午前10時～午後4時 午前11時～午後3時 午後1時30分～	紅花プレゼント(先着300人) 整理券配布午前9時30分より 高瀬紅花音頭(婦人会)、老酒盛、大黒舞、鹿楽招旭踊 紅花染体験 先着15人(1,080円) 紅花販売、紅花摘み体験(500円) 写真撮影会(紅花娘)(午後0時30分～午後1時30分 休憩) 紅花染体験 先着15人(1,080円)
	高沢会場	午前10時～午後4時	紅花観賞のみ
	乗馬体験会場 (本会場)	午後1時～午後3時	乗馬体験(引き馬)無料

※本会場は高瀬紅花ふれあいセンター

※行事時間等が変更になる場合があります。

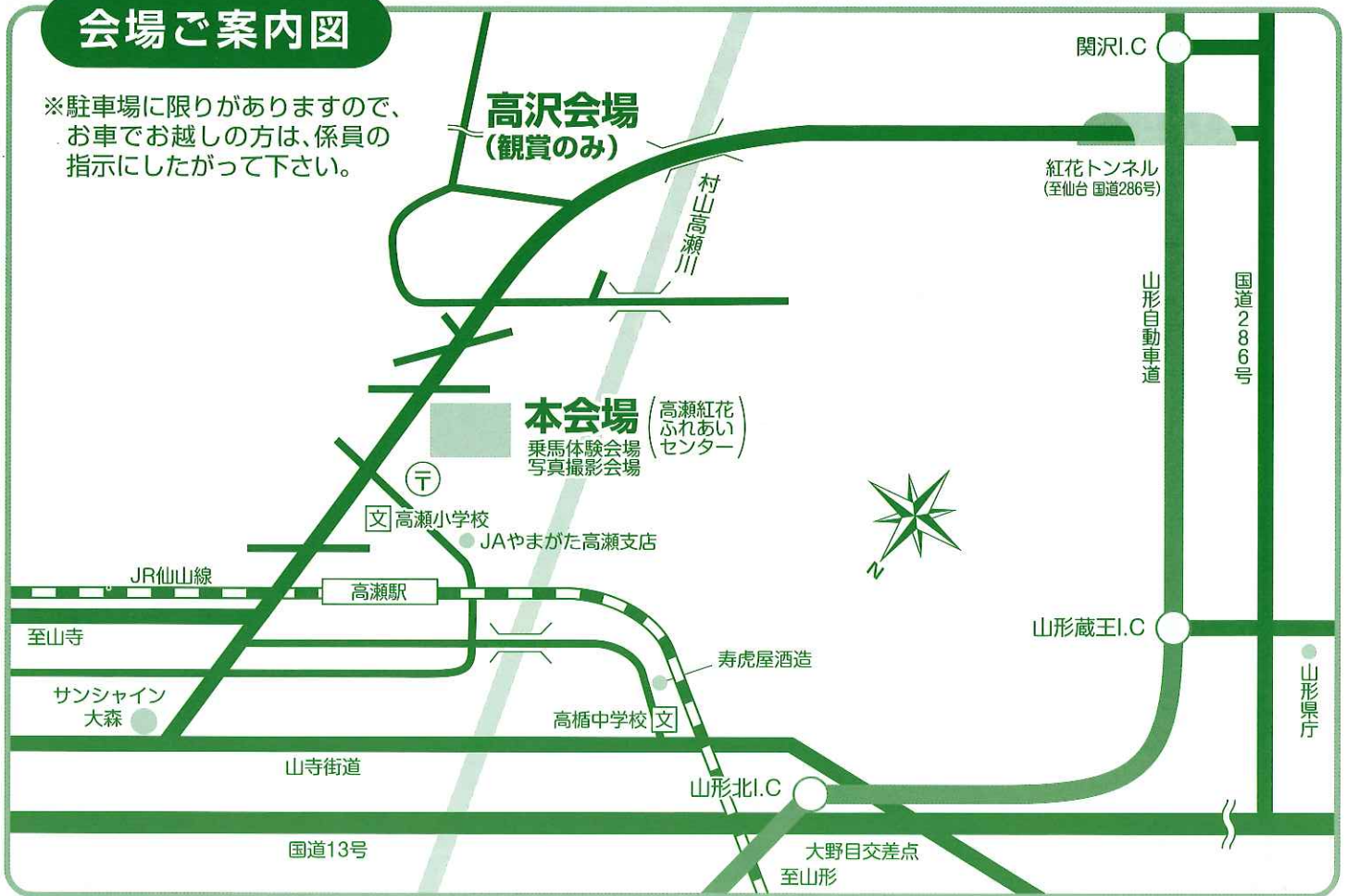
主催 山形紅花まつり実行委員会 TEL.023(686)3341

共催 山形市・高瀬地区振興会

後援 山形県村山総合支庁 (一社)山形市観光協会 JAやまがた高瀬支店 高瀬紅花生産組合 NHK山形放送局 山形新聞・山形放送 (株)山形テレビ (株)テレビユー山形 (株)さくらんぼテレビジョン (株)ケーブルテレビ山形 (株)エフエム山形 山形コミュニティ放送(株)

会場ご案内図

※駐車場に限りがありますので、お車で越しの方は、係員の指示にしたがってください。



11・12日の2日間は、高瀬駅、山形市十日町「紅の蔵」から本会場・高沢会場まで無料シャトルバスを運行します。



高瀬小児童による研究発表

お楽しみが盛りだくさん!!

- ★高瀬小学校児童のシャトルバスガイド
- ★記念切手・スタンプ
- ★売店
- ★高瀬焼販売
- ★木工品販売
- ★郷土芸能発表 ほか



無料乗馬体験



紅花染め



写真撮影会

JR 仙山線

高瀬駅 発車時刻表

開催中(7/11[土]・7/12[日])※快速電車臨時停車します。

上り (山寺・作並・仙台方面)

列車名	山形発	発車時刻	仙台着	途中停車駅
普通	6:28	6:41	7:53	各駅停車
普通	7:55	8:09	9:17	各駅停車
普通	8:55	9:09	10:21	各駅停車
快速※	9:45	9:57	10:53	山寺・作並・梁子・陸前落合・国見・北仙台
普通	10:50	11:04	12:09	各駅停車
普通	12:55	13:10	14:16	各駅停車
快速※	13:56	14:07	15:13	山寺・作並・梁子・陸前落合・国見・北仙台
普通	14:56	15:09	16:25	各駅停車
普通	16:53	17:08	18:15	各駅停車

下り (羽前千歳・山形方面)

列車名	仙台発	発車時刻	山形着	途中停車駅
普通	6:10	7:21	7:37	各駅停車
普通	7:07	8:18	8:32	各駅停車
快速※	8:15	9:18	9:29	羽前千歳・北山形
快速※	9:04	10:06	10:21	羽前千歳・北山形
普通	10:07	11:14	11:28	各駅停車
普通	12:11	13:20	13:34	各駅停車
快速※	13:01	14:02	14:17	羽前千歳・北山形
普通	15:00	16:06	16:25	各駅停車
普通	17:00	18:04	18:21	各駅停車
普通	17:46	18:56	19:12	各駅停車



21世紀の教育の創造

-ほめる・叱るに替わる教育と子育て-

講座の概要

本講座では、民主的な親子関係のあり方（理念）とそこで用いられるべきコミュニケーション技法（方法）をワンセットで学べる親学習プログラムSTEPを中心とした内容を紹介します。21世紀を担う子どもたちに、現在の子ども時代に民主的な関係性を経験させることのできる親や教師としてのかかわりを学ぶ機会とする。

なお、本講座は、2010・2012・2014年の本講座に次ぐ第四弾である。

全5回 公開講座スケジュール

8月24日（月）、9月3日（木）・10日（木）・17日（木）・24日（木）

18時00分～20時00分

講座内容

- ① 8月24日（月） 『全般的理解の枠組みと不適切な行動の理解』
- ② 9月 3日（木） 『子どもの問題に対する、自己解決へ向けた支援』
- ③ 9月10日（木） 『親・教師の問題に対するアプローチ（罰に替わるアプローチ）』
- ④ 9月17日（木） 『適切な行動へのアプローチ：勇気づけ（賞に替わるアプローチ）』
- ⑤ 9月24日（木） 『集団での問題解決支援』

講師

山形大学地域教育文化学部

教授 松崎 学

受講対象

一般市民＜定員40名＞

受講料

2,500円

場所

山形大学地域教育文化学部
1号館114講義室（1F）

申込先・問合せ先

山形大学地域教育文化学部事務室

7月31日（金）までに
電話で申込ください。

平成27年7月7日
山形大学

日本科学教育学会 第39回年会（山形大会） 開催

日本科学教育学会第39回年会（山形大会）が、8月21日（金）～8月23日（日）の3日間、山形大学小白川キャンパスにて開催されます。山形大学での年会開催は32年ぶりです。年会では、最新の科学教育研究の知見や研究動向を把握することができます。

日本科学教育学会第39回年会

1. テーマ：学びの原点への回帰 ―新時代に対応した科学教育研究―
2. 日程：2015年8月21日（金）～23日（日）（3日間）
3. 会場：山形大学（小白川キャンパス） 基盤教育1号館
（〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12）
4. 主催：一般社団法人日本科学教育学会
後援：山形大学、山形大学地域教育文化学部
山形県教育委員会、山形市教育委員会
5. 内容：次の内容を予定しています。
 - ＜研究発表＞約200件
 - ＜講演＞
 - ・ピア・インストラクション型授業とその定量的分析
新田英雄（東京学芸大学）
 - ＜シンポジウム＞
 - ・イノベティブ人材育成を実現する科学教育
登壇者：磯崎哲夫（広島大学）熊倉啓之（静岡大学）隅田学（愛媛大学）
指定討論者：木村捨雄（鳴門教育大学名誉教授）
6. 主な参加者：
科学と教育の関係に興味を持たれる研究者、学校で理科、算数、数学、技術家庭科にかかわる先生、それらの教科での子どもの認知発達や学習に興味を持つ研究者、学校教育のICT化に関心のある先生など。
7. 参加費：5000円～（一般会員）

詳しい情報は、学会HPをご覧ください。

<http://www.jsse.jp/jsseam/modules/note8/index.php?id=1>

（お問合せ先）
山形大学 地域教育文化学部
担当：鈴木宏昭（事務局）
電話：023-628-4427

小・中・高校生のためのプログラム

ひらめき☆ ときめき サイエンス

～ようこそ大学の研究室へ～

参加費
無料

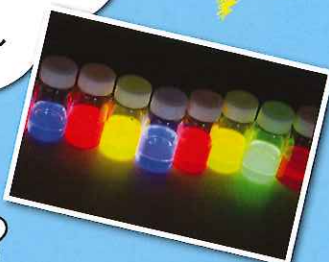
ひらとき 検索
事業の詳細内容はHPから
ご覧ください

開催日

2015
8/6 木

「有機EL」とは どんなものか、知っていますか？

「未来の新しいあかり」有機ELについて、実験をしながら楽しく学べるプログラムです。まず、白色有機ELの開発者、城戸淳二教授から有機ELについて教えてもらったあとに、有機EL素子を作り、光らせます。昼食はスタッフと学生食堂へ。後半はお菓子を食べながら質問コーナーの時間も。実際に有機ELテレビや照明を見たり、クリーンルームなどの最先端の有機エレクトロニクスの研究現場を見学します。この夏休みに、心に残るすてきな体験をしませんか？



学校では
勉強できないことを
来てくれたみんなに
教えちゃうよ♪



山形大学 大学院理工学研究所
城戸 淳二 教授

対象

中学生 (18名)

申込締切

2015年7月17日(金)

※先着順になります。お早めにお申込みください。

集合場所・時間

9:30までに有機エレクトロニクス
研究センター(10号館)4階に
お集まりください。

スケジュール

- 9:30～10:00… **受付、開場**
(工学部有機エレクトロニクス研究センター4階集合)
- 10:00～10:20… **開講式** (挨拶、オリエンテーション)
- 10:20～11:00… **講演** [未来のエレクトロニクス、有機エレクトロニクスとは]
- 11:00～12:00… **実験** [未来の光、有機ELを作る①]
[有機EL照明、テレビを体感する]
- 12:00～13:00… **昼食及び写真撮影**
(先生方、大学院生とともに学食で食事)
- 13:00～15:00… **実験** [未来の光、有機ELを作る②]
[有機EL照明、テレビを体感する]
- 実験結果評価、ディスカッション**
- 15:10～15:50… **クッキータイム、フリートーク**
(先生方や大学院生への質問コーナー)
- 15:50～16:10… **修了式** (未来博士号授与・アンケート記入)



参加 お申込み 方法

▶ ホームページから申し込む場合

https://www.jsps.go.jp/hirameki/06_sanka.html
※「(1) Webから申し込む場合」の手順に沿って、
申込をして下さい。



▶ Eメールで申し込む場合

koupjshien@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
※参加申し込み書の内容を送信
タイトルに「ひらとき参加希望(有機EL)」とお書き下さい。

▶ FAXで申し込む場合

FAX:0238-26-3401
※下記の参加申込書を送付して下さい。

氏名	ふりがな		生年月日	平成	・	・	生	性別	<input type="checkbox"/> 男・ <input type="checkbox"/> 女
			電話番号	()			
住所	〒								
学校名	学年	年	ご家族・学校関係者の見学の有無				<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無		
			保護者の同意(必須)				<input type="checkbox"/> 同意有り		
E-mail									

※傷害保険加入の為、生年月日は必ずご記入ください。 ※該当する□に✓を記入してください。 ※ご記入いただいた個人情報は本件でのみ使用し、他には一切使用いたしません。

参加決定者には後日通知いたします

お申込み・お問合わせ先：山形大学工学部 研究支援課研究支援担当

TEL:0238-26-3004 FAX:0238-26-3401 E-mail : koupjshien@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用

● 期日 **2015.9/5 Sat**
9:00～15:15(受付は8:30より開始)

● 会場 **山形大学農学部3号館**

● 対象 **高校生/定員20名**

● 参加費 **無料(昼食付)**

● 申込締切日 **2015.8.28(金)**

● 参加ご希望の方は8月28日(金)まで、E-mail、FAX、電話で下記お問い合わせ・お申込み先までお申込みください。

生物の進化や生命の維持のためには、生物の多様性が重要です。なぜなら、生物は、個々に生きているわけではなく、他の生物種とともに生存競争のもとで相互依存的に生息しているからです。そこで本プログラムでは、最初に土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用についてインドネシアと日本で実施した研究成果を紹介します。そして、土壌微生物や昆虫の観察、植物の分析などの実験を通して、農学の面白さを皆さんに伝えます。

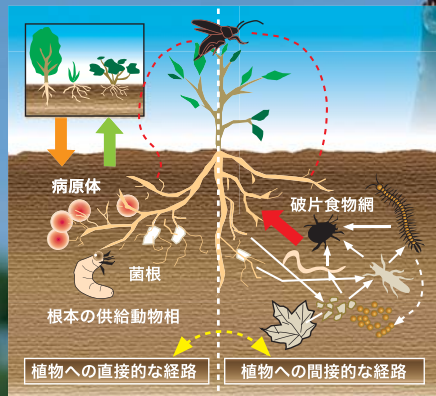
未来博士号が授与される 高校生対象特別プログラム

- 講師/安田弘法教授
西澤隆教授/俵谷圭太郎教授
村山秀樹教授/佐藤智准教授
- 講義/生物の多様性を考える
～土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用～
- 実験1/土壌微生物を観察する
～菌根菌の役割～
- 実験2/植物を分析する
～ポリフェノールの役割～
- 実験3/昆虫を観察する
～植食者と捕食者との関係～
- なんでも質問コーナー



生物の多様性を 考える。

生物の多様性を考える



主催:山形大学農学部

●お問い合わせ・お申込み先/山形大学農学部企画広報室
山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2911 fax.0235-28-2812
E-mail: nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



リサイクル適性 (A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

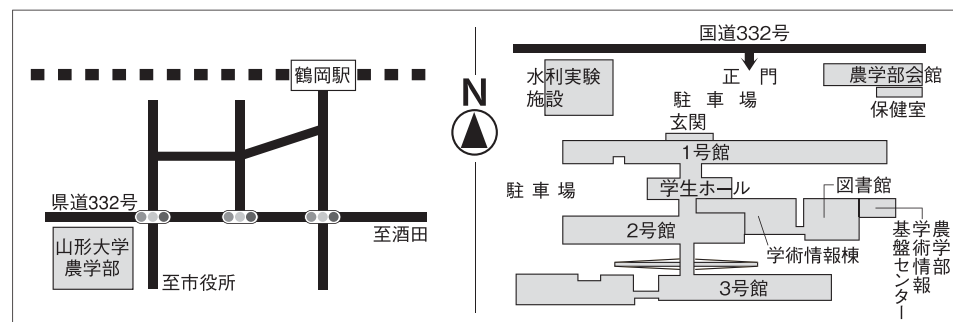
未来博士号が授与される、高校生対象の特別プログラム

生物の多様性を考える。

●当日のスケジュール

- 8:30～ 9:00 受付（農学部3号館4階401講義室）
- 9:00～ 9:10 開講式（あいさつ・オリエンテーション・科研費の説明）
- 9:10～ 9:40 講義／生物の多様性を考える
………土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用
- 9:40～ 9:50 休憩
- 9:50～11:00 実験1／土壌微生物を観察する
………菌根菌の役割（休憩10分含む）
- 11:00～11:10 休憩
- 11:10～12:20 実験2／植物を分析する
………ポリフェノールの役割（休憩10分含む）
- 12:20～13:20 昼食（実施担当者・協力学生と参加者の交流会）
- 13:20～14:20 実験3・昆虫を観察するー植食者と捕食者との関係
（休憩10分含む）
- 14:20～15:00 クッキータイム・受講生の作文発表
- 15:00～15:15 修了式（未来博士号授与、アンケート記入、記念撮影）
- 15:15 終了、解散

土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用



この申し込み用紙に必要事項をご記入の上、ファックスでお申し込みください。

fax.0235-28-2812

参加申込書

平成 年 月 日

●お名前（フリガナ）		<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
●ご住所 〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>			
●TEL () ()	●FAX () ()	●メールアドレス	
●学校名	●学年 () 学年	●年齢 () 歳	●保護者の同意の有無 <input type="checkbox"/> 同意あり <input type="checkbox"/> 同意なし
●家族・学校関係者見学（参観）の有無 <input type="checkbox"/> 参観あり <input type="checkbox"/> 参観なし	●参観ありの場合ご記入願います	同伴者氏名	住所 年齢 () 歳
●このプログラムに期待すること			

●ご記入いただいた個人情報については、本事業に関する準備、連絡以外には使用いたしません。●不明な点などがありましたら、下記までご連絡ください。

〈お問い合わせ・お申込み先〉山形大学農学部企画広報室
 山形県鶴岡市若葉町1-23 〒997-8555 tel.0235-28-2911 fax.0235-28-2812
 E-mail.nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ときめき、ひらめき、サイエンス

検索

●下記のホームページからお申し込みができます。

<http://www.jsps.go.jp/hirameki>

リサイクル選性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



山形大学農学部 夏期セミナー2015

8/3(月)

9:00~12:30

8:30~開講式

◆夏期セミナーとは！？

「食料系コース」・「生命系コース」・「環境系コース」に分かれ、実験やフィールドワークを通して、各分野に関する先端の研究を直接体験できる、高校生対象のセミナーです。【各コース定員10名】

◆タイムスケジュール

◆8:30~8:50 開講式

◆9:00~12:00 3コースに分かれて実験やフィールドワークを行います

食料系コース

【フィールドワーク】

鶴岡城下町探検

食農環境マネジメント学コース教授
岩鼻 通明

キャンパス内で説明の後、致道博物館・藤沢周平記念館などを見学します。城下町・鶴岡の歴史と文化を知り、鶴岡の魅力を発見しましょう。

持ち物

マイボトルなど水分補給できるもの

服装

歩きやすい服装と靴

生命系コース

【実験】

「香り」の正体 —有機分子の構造を見てみよう—

食品・応用生命科学コース教授
塩野 義人

キャンパス内の実験室で行います。普段は鼻で感じ取る「香り」ですが、今回は実験で香りの成分を取り出し、その正体を明らかにします。

持ち物

筆記用具

服装

多少汚れても構わない服装

環境系コース

【フィールドワーク】

山里の脅威 大規模地すべりと 地下100メートルで闘う

水土環境科学コース教授
奥山 武彦

地すべりの原因について説明の後、バスで大網地区に移動します。大日坊跡地や建設中の地すべり対策トンネルを見学して防災について考えます。

持ち物

タオル、筆記用具

服装

多少汚れても良い動きやすい服装（スカート不可）、運動靴

◆12:00~12:30 閉講式

◆お申し込み方法は2通り！ ※事前予約が必要です！

①FAXでのお申し込み

【夏期セミナー受講申込用紙】に必要事項を記入いただき、山形大学農学部学務担当FAX(0235-28-2814)までお送りください。

②Eメールでのお申し込み

以下の必要事項を記載いただき、山形大学農学部学務担当Eメールアドレス(nogaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)までお送りください。なお、Eメールのタイトルは「夏期セミナー申込み」としてください。

* 必要事項 *

- ①受講者氏名 ②カナ氏名 ③性別 ④住所 ⑤高校名・学年
⑥電話番号 ⑦希望コース名(第2、第3希望がある場合は記載してください)

申込〆切
7/21(火)

【夏期セミナー受講申込用紙】

食料系コース、生命系コース、環境系コースから1つ選んでください。
第2希望及び第3希望のコースがある場合は、順番に記入してください。
定員は各コース10人で、受付は先着順とします。

希望コース名： _____

フリガナ： _____

受講者氏名： _____ 性別： _____

住所： _____

高校名： _____ 学年： _____

電話： _____

E-mail： _____

その他（セミナーの内容について、質問・要望等ございましたら何でもご記入ください）

(_____)

申込締切：7月21日（火）（必着）

申込用紙提出先：

〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23

山形大学農学部学務担当夏期セミナー係

Eメールアドレス nogaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

電話番号 0235-28-2808 ファックス番号 0235-28-2814

カルビー株式会社 元社長 (現相談役)

まつ お まさ ひこ
松尾 雅彦氏 講演会

『改革は辺境から』

**参加
無料**

お申し込みが必要です。

2015 **7/17** 金

開演/ 16:20~17:30

会場/ 山形大学農学部

3号館3階301講義室

(鶴岡市若葉町1-23)

●お申し込み締切/ 7月13日 (月)



【松尾 雅彦】 (まつおまさひこ)

1941年 広島市に生まれる
1965年 慶応義塾大学法学部卒業
1967年 カルビー株式会社入社
1992年 同社社長就任
2006年 同社相談役

- ・NPO法人「日本で最も美しい村」連合副会長
- ・新品種産業化研究会 (JATAFF内) 会長
- ・スマート・テロワール協会会長
- ・著書に『スマート・テロワール 農村消滅論からの大転換』 (学芸出版社)



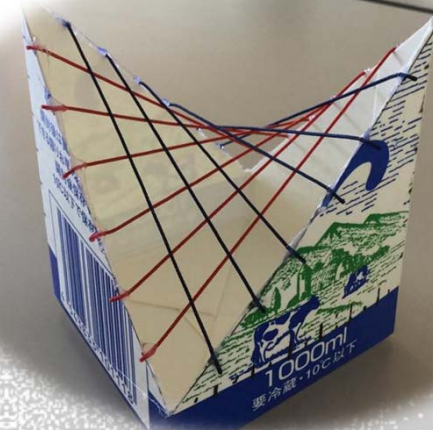
主催 山形大学農学部

お申し込み・
お問い合わせ先

山形大学農学部企画広報室

TEL: 0235-28-2911 FAX: 0235-28-2812
E-mail: nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

夏休み 算数・数学教室



自由研究を算数・数学でやってみませんか？

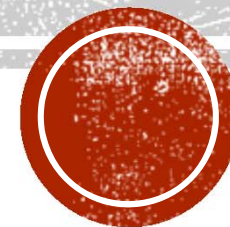
日時：2015年7月24日 10時から14時

場所：悠創の丘（悠創館 山形県山形市上桜田366番地）

対象：小学校3年生以上の小・中学生のお子さんとその保護者

主催：山形大学 数学教育研究センター (MERC)

申込：waki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp （裏面参照）



内容と参加方法

- 缶詰を使った算数・数学実習 (10:00 – 10:40)
 - 数学オブジェの制作 (10:50 – 12:20)
 - 午後 1 時から、算数・数学の質問に何でも答える相談会を実施します。晴天の場合は、野外イベントも計画中です。
 - 昼食は、各自でご持参ください。午後以降は自由解散です。
-
- 電子メールで、「waki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp」までご連絡ください。
 - 電子メールには、下記の内容を記載してください。
 - (a) 参加されるお子様のお名前と学校名と学年
 - (b) 保護者様のお名前
 - (c) 連絡用の電子メールアドレス
 - 7月上旬に、参加する際にご準備頂くものを電子メールでお知らせします。
 - 参加費は無料ですが、イベント保険の代金 1 人 5 0 円を当日集めますので、お釣りの無い形でご用意ください。
 - 参加者定員は先着 2 0 組で、定員になり次第締めきります。

